※令和４年度以降入学生用

学校番号	T3010

令和５年度　外国語科

教科	科目	単位数	指導学年	教材名・副教材名
外国語	英語基礎	1	第１学年 第２学年	Willing New 基本の英語　3rd. Edition (啓林館)

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

「英語基礎」は中学校で修得した英語のまとめと補完を行い、高校英語に役立つよう橋渡しを行う授業です。０限目授業の履修を希望する生徒を対象に開講する科目で、通常の始業時刻より早く登校し、学習することが求められます。

１年次／2 年次（3 年次）と年度により受講時期・学年は異なりますが、「英語コミュニケーションⅠ」と並行、もしくは学びなおしとして主体的に取り組んでほしい基礎づくりの授業です。

この科目は、副教材をベースに解説を講義形式で行った後、練習問題を解き、文法事項を体系的に学びます。①教科の予習・復習　②単語・熟語の意味調べ　③間違えたところ、問題の疑問点の認識　これらを行い授業に臨むことを期待します。

２ 学習の到達目標（「CAN-DO リスト」の形での学習到達目標）

【第１学年】

領域	聞くこと	読むこと	話すこと （やり取り）	話すこと （発表）	書くこと
学習到達目標	ゆっくりはっきりと話されれば、「立て」「座れ」「止まれ」などの 短い簡単な指示を理解することができる。 ゆっくりはっきりと発話される、基本的な語句や表現からなる 英文（１文）の内容を正確に聞き取ることができる。	挿絵や写真のある簡単な１～３文程度の情景描写を理解でき、バースデーカードなどのメッセージの内容を読み取ることができる。 日常生活で使われる非常に短い簡単な指示（「飲食禁止」など）やレストランなどのメニューを理解することができる。	決まった表現や形式を用いて、日時や場所について質問したり、 質問に答えたりすることができる。	前もって準備したうえで、決まった表現や形式を用いて実物を示しながら、その物について簡単な説明をすることができる。	基本的な語句や表現、文法事項などの知識を活用して簡単な英文（１文）を書くことができる。 自分についての基本的な情報（名前、誕生日、年齢など） を書くことができる。

※令和４年度以降入学生用

【第２学年】

領域	聞くこと	読むこと	話すこと (やり取り)	話すこと (発表)	書くこと
学習到達目標	ゆっくりはっきりと発話される、基本的な語句や表現からなる ３文程度の英文の内容を的確に聞き取ることができる。 趣味など身近なトピックについての短い話をゆっくりはっきりと話されれば、理解することができる。	基本的な語句や表現から構成される１～３文程度の英文を文法事項などの知識も活用して内容を的確に読み取り音読することができる。 簡単な語や表現を使って書かれた短い物語や身近なトピックに関する短い文章を挿絵や写真を参考にしながら理解することができる。	基本的な語や表現を使って、好き嫌いやできることできないことなど日常的な事柄についてやり取りをすることができる。	前もって準備したうえで、決まった表現や形式を用いて自分や他人のことを紹介することができる。	簡単な語や基礎的な表現を用いて、バースデーカードなど、メッセージカードを書くことができる。 趣味や好き嫌いについて簡単な語や基礎的な表現を用いて、箇条書きで複数の文を書くことができる。

３ 学習評価(評価の観点と実施方法)

観点	a 知識・技能	b 思考・判断・表現	c 主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・外国語の音声や基礎的な語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けている。	・コミュニケーションを行う目的や場面、状況に応じて、日常的な話題、特に学校生活や勤務先の話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点を的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりしている。	・外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまり（領域）ごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	課 “題材名”	領域	評価規準	評価方法
１学期	Warm up アルファベットを書いてみよう・覚えよう ほか Be 動詞 Be 動詞の否定文・疑問文 一般動詞 一般動詞の否定文・疑問文	聞くこと	a：英語の音声の特徴（リズム・イントネーション）を理解している。 b：各課のイラスト問題、練習問題などの実戦問題に対応できている。 c：さまざまな話題を聞き取っている。	授業中試験 （リスニング）
		読むこと	a：各課の解説を読み、概略を理解している。 b：内容をおおむね理解し、問題の解答を導き出すことができる。 c：題材・ターゲットとなる各課の文法事項などをふまえ、読解をすすめようとしている。	定期考査 （リーディング）
		話すこと （やり取り）	a：各課のターゲットとなる文法事項などを用いてリピート発話できる。 b：各課のターゲットとなる文法事項などを含んだ文などを用いておおよその応答ができる。 c：各課のターゲットとなる文法事項などを含んだ文などで自分の意見を含め応答できる。	授業中試験 （スピーキング）
		書くこと	a：各課のターゲットとなる文法事項などを含んだ問題の解答を導き出すことができる。 b：各課の問題を理解し、応用問題に対応できる。 c：各課の応答表現や応用問題の解答の精度をあげて導き出す試みを行うことができる。	授業中試験 （ライティング）
	中間考査			
	be 動詞の過去形 一般動詞の過去形 疑問詞 ＋Yes/No 疑問文 疑問詞 ＋動詞?/how 形容詞・副詞 There＋be 動詞 ＋名詞 進行形 未来 will/be going to 動詞の原形	聞くこと	a: 英語の音声の特徴（リズム・イントネーション）を理解している。 b: 前置詞などを含めフレーズで聞き取る。 c: 文法力などを駆使し、総合的に聞き取りを行っている。	授業中試験 （リスニング）
		読むこと	a: 各課の解説を読み、概略を理解している。 b：各課、各内容をおおむね理解し、設問に答える。 c：題材・ターゲットとなる各課の文法などをふまえて精読し、内容理解を進めることができる。	定期考査 （リーディグ）
		話すこと （やり取り）	a: 相づちを打ったり、聞き直したりする等、コミュニケーションを円滑にするための言語の働きを理解している。 b：各課のターゲットとなる文法事項などを含んだ文などを用い、おおよその応答ができる。 c：各課のターゲットとなる文法事項などを含んだ文などを用い、自分の意見を含め、応答できる。	授業中試験 （スピーキング）
		書くこと	a: 各課のターゲットとなる文法事項などを用いて、考えや気持ちを書いて伝えようとする。 b: 各課のターゲットとなる文法事項などを用いて考えや気持ちを基本的な語を用いて書く技能を身につけている。 c: 各課のターゲットとなる文法事項などを用いて考えや気持ちを伝わるよう書こうとしている。	定期考査 （ライティング）
	期末考査			

※令和４年度以降入学生用

２学期	助動詞 can may 助動詞 must should 受け身 接続詞 現在完了形 （完了・結果） 現在完了形 （経験） 現在完了形 （継続） 現在完了進行形 過去完了形	聞くこと	a: 英語の音声の特徴（リズム・イントネーション）を理解している。 b: さまざまな動詞・助動詞、文の形を聞き取ることができる。 c: 文法的な力などを駆使し、総合力で聞き取りを行うことで内容理解の精度を高めようとしている。	授業中試験 （リスニング）
		読むこと	a：長文を読み、概略を理解している。 b：内容をおおむね理解し、問題の解答を導き出すことができる。 c：題材・ターゲットとなる各課の文法事項などをふまえ、読解をすすめようとしている。	定期考査 （リーディング）
		話すこと （やり取り）	a: 相づちを打ったり、聞き直したりする等、コミュニケーションを円滑にするための言語の働きを理解している。 b：各課のターゲットとなる文法事項などを含んだ文などでおおよその応答ができる。 c：各課のターゲットとなる文法事項などを含んだ文などで自分の意見を含め応答する。	授業中試験 （インタビュー）
		書くこと	a：各課のターゲットとなる文法事項などを含んだ問題の解答を導き出す。 b：各課の問題・解答を理解し、応用問題に対応する。 c：各課の応答表現や応用問題の解答を精度をあげて導き出す試みを行っている。	定期考査 （ライティング） レポート
	中間考査			
	形容詞と副詞の比較変化 比較表現 as＋原級 ＋as～ 比較級＋than～ the＋最上級… in[of]～ 不定詞 (名詞的用法 ・形容詞的用法) 不定詞 (副詞的用法)	聞くこと	a: 英語の音声の特徴（リズム・イントネーション）を理解している。 b: 各課の文法事項をおおむね理解し、リスニングに結びつけて聞き取り内容の把握に役立てている。 c：各課の文法事項を理解し、リスニングに十分結びつけて内容を理解している。	授業中試験 （リスニング）
		読むこと	a: 各課の文法事項を含む文を読み、内容を理解している。 b：各課の文法事項を理解し、問題の解答を導き出すことができる。 c：題材・ターゲットとなる各課の文法事項などをふまえ、文意を意識し精読をすすめることができる。	定期考査 （リーディング）
		話すこと （やり取り）	a：各課の文法事項などを含んだ文のリピート発話ができる。 b：各課のターゲットとなる文法事項などを含んだ文を一部使用し、おおよその応答ができる。 c：各課のターゲットとなる文法事項などを含んだ文に自分の意見を含めて応答しようとしている。	授業中試験 （スピーキング）
		書くこと	a: 比較や不定詞など各課の文法事項を理解し、これらを用いて書き表そうとする姿勢を示している b: 比較や不定詞など各課の文法事項を用いて、内容について自分の知ったことや感想を基本的な文法事項を用いて書く技能を身につけている。 c: 比較や不定詞など各課の文法事項を用いて、自分の意見や感想を添えて書き表そうとしている。	定期考査 （ライティング） レポート
	期末考査			

※令和４年度以降入学生用

３学期	動名詞 現在分詞 ／過去分詞 関係代名詞 仮定法過去 関係副詞	聞くこと	a: 英語の音声の特徴（リズム・イントネーション）を理解している。 b: 動名詞、現在分詞／過去分詞、関係代名詞／関係副詞、仮定法過去など各課の文法事項をおおむね理解し、リスニングに結びつけ聞き取り内容の把握に役立てようとしている。 c: 動名詞、現在分詞／過去分詞、関係代名詞／関係副詞、仮定法過去など各課で理解した文法事項など駆使し、総合力で聞き取りを行っている。	授業中試験 （リスニング）
		読むこと	a: 動名詞、現在分詞／過去分詞、関係代名詞／関係副詞、仮定法過去など各課の文法事項をおおむね理解し、文意を捉える技能を身に付けている。 b: 動名詞、現在分詞／過去分詞、関係代名詞／関係副詞、仮定法過去など各課の文法事項を理解し、設問の解答を導き出すよう読解している。 c：動名詞、現在分詞／過去分詞、関係代名詞／関係副詞、仮定法過去など各課の文法事項などをふまえ、詳細に文意を理解することができる。	定期考査 （リーディング）
		話すこと （やり取り）	a: 動名詞、現在分詞／過去分詞、関係代名詞／関係副詞、仮定法過去など各課のターゲットとなる文法事項などを用い、おおよその応答を試みている。 b: 動名詞、現在分詞／過去分詞、関係代名詞／関係副詞、仮定法過去など各課の文法事項を用い、応答している。 c: 動名詞、現在分詞／過去分詞、関係代名詞／関係副詞、仮定法過去など各課の文法事項を用いて自分の意見などを伝えようとしている。	授業中試験 （スピーキング）
		書くこと	a: 動名詞、現在分詞／過去分詞、関係代名詞／関係副詞、仮定法過去など各課の文法事項を用い、書いて伝えようとしている。 b: 動名詞、現在分詞／過去分詞、関係代名詞／関係副詞、仮定法過去など各課の文法事項を用い、書いて伝える技能を身につけている。 c: 動名詞、現在分詞／過去分詞、関係代名詞／関係副詞、仮定法過去など各課の文法事項を用い、自分の感想や意見を表現し、筋道立てて書こうとしている。	定期考査 （ライティング） レポート
	学年末考査			

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度